

令和8年度 高等部 1年 (Ⅱ課程B) 国語 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 105 | なし | 担当1名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | (知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(中1段階) (思判表力) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。(中1段階) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。(中1段階) | | | |
|-------------|----|---|---|----------------------------|---|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 15 | (知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。(中1段階ア(力)) (思判表力) 自己紹介や電話の受け答えなど、相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中1段階A工) (学・人) 言葉の特徴や使い方に気を付けて、言葉で伝えようとするができる。(中1段階) | (知・技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使っている。 (思・判・表) 自己紹介や電話の受け答えなど、相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学) 言葉の特徴や使い方に気を付けて、言葉で伝えようとしている。 | 相手に応じた言葉遣い いろいろな挨拶 | ・不適切な言葉遣いでのやりとりを聞いて、「おかしい」場面に気付く。 ・間違った言葉遣いを直し、ロールプレイをする。 ・電話の受け答えで実践する。 |
| | 18 | (知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知る。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めることができる。(中1段階Aイ) (学・人) 言葉がもつよさに気付き、季節の挨拶を表現しようとすることができる。(中1段階) | (知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知っている。 (思・判・表) 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めている。 (主学) 言葉がもつよさに気付き、季節の挨拶を表現しようとしている。 | 季節の挨拶① 手紙を書こう① | ・1学期の出来事や就業生活体験を思い出し、伝えたいことを決める。 ・暑中見舞いを書く。 |
| 2 学期 | 15 | (知及技) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解することができる。(中1段階ア(オ)) (思判表力) 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。(中1段階Bア) (学・人) 国語で考えたり伝えたりしようすることができる。(中1段階) | (知・技) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 (思・判・表) 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめている。 (主学) 国語で考えたり伝えたりしようとしている。 | 出来事や経験したことをまとめよう | ・絵や写真を見て「～が」「どうする(どうした)」の短い文を作る。 ・心に残った場面を表現する。 ・出来事や経験したことの中から、題材を選び、文にまとめる。 |
| | 20 | (知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知る。(中1段階ウ(エ)) (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中1段階Cア) (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しもうとすることができる。(中1段階) | (知・技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知っている。 (思・判・表) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 (主学) 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しもうとしている。 | 物語の世界 | ・いろいろな絵本や簡単な物語の読み聞かせを見聞きたり、動画を視聴したりする。 ・心に残った場面を表現する。 ・ペープサートやパネルシアターなどで発表する。 |
| | 10 | (知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知る。(中1段階ウ(イ)) (思判表力) 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めることができる。(中1段階Aイ) (学・人) 言葉がもつよさに気付き、季節の挨拶を表現しようとすることができる。(中1段階) | (知・技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知っている。 (思・判・表) 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めている。 (主学) 言葉がもつよさに気付き、季節の挨拶を表現しようとしている。 | 季節の挨拶② 手紙を書こう② | ・1年間を振り返り、頑張ったことや心に残った出来事など伝えたいことを決める。 ・年賀状を書く |
| 3 学期 | 15 | (知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)ア) (思判表力) 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えることができる。(中1段階Aア) (学・人) 我が国の言語文化に親しみ、筆や昔話に親しもうとすることができる。(中1段階) | (知・技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。 (思・判・表) 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えている。 (主学) 我が国の言語文化に親しみ、筆や昔話に親しもうとしている。 | 新年を迎えて 書き初めをしよう 干支の話 | ・新年にふさわしい言葉や今年の目標を筆で書く。 ・十二支の話を視聴したり、パネルシアターを操作したりする。 |
| | 12 | (知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中1段階ウ(ア)) (思判表力) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(中1段階Bイ) (学・人) 言語がもつよさに気付き、言葉を楽しもうとすることができる。(中1段階) | (知・技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 (主学) 言語がもつよさに気付き、言葉を楽しもうとしている。 | 俳句と川柳 | ・季節の言葉集めをする。 ・季節の言葉を取り入れた俳句を作る。 ・高校生川柳を聞いたり、作ったりする。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年(Ⅱ課程B) 社会 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|---------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 35 | なし | 社会科担当3名 |

目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| | | | | | |
|-------------|----|---|---|---|--|
| 年間目標 | | (知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身につけることができる。 (中1段階オ我が国の地理や歴史) (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結びつけて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (中1段階ア社会参加ときまり) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。 (中1段階イ公共施設と制度) | | | |
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 12 | (知及技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身につけることができる。(中1段階ア社会参加ときまり(ア)㉔) (思判表力) 集団生活において何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現することができる。(中1段階ア社会参加ときまり(ア)㉔) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけることができる。(中1段階ア社会参加ときまり(ア)㉔) | (知・技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 集団生活において何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現しようとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけようとしている。 | ・社会参加ときまり ・友達との関わり、学校のルールについて ・平和といのち | 「生活体験や校内実習の事前、事後学習(調べ学習、掲示物作成、反省、感想作成)」 ・学習することを教師と一緒に確認し、みんなに伝える。また学習したことを写真などで振り返りながらまとめて、みんなに伝える。 ・他者の意見や立場を尊重する。 違いを認める。 ・自分も相手も大切にすることが、平和につながることを体験的に学ぶ。 |
| | | (知及技) 安全や防災に関する知識や技能を身につけることができる。(中1段階ウ地域の安全(ア)㉔) (思判表力) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能について理解し、考えたことを表現することができる。(中1段階ウ地域の安全(ア)㉔) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけることができる。(中1段階ウ地域の安全(ア)㉔) | (知・技) 安全や防災に関する基礎的な知識や技能を身につけようとしている。 (思・判・表) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能について理解し、考えたことを表現しようとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての態度を身につけようとしている。 | ・地域の安全 | 「火災避難訓練」 「地震・津波避難訓練」 ・教師と一緒に避難をすることができ、安全な避難行動の習慣化を図る。 |
| 2 学期 | 15 | (知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。(中1段階イ公共施設と制度(イ)㉔) (思判表力) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとするすることができる。(中1段階イ公共施設と制度(イ)㉔) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについて自覚することができる。(中1段階イ公共施設と制度(イ)㉔) | (知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を分かってしようとしている。 (思・判・表) 身近な生活に関する制度を分かってしようとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さに気付き、取り組もうとしている。 | ・公共施設と制度 | 「校外学習」 ・社会の仕組みやマナー、公共施設の利用方法について知り教師と一緒に体験する。 ・障害があっても利用できる学校や社会の理解(バリアフリー等) |
| | | (知及技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解することができる。(中1段階工業業と生活(ア)㉔) (思判表力) 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることを理解することができる。(中1段階工業業と生活(ア)㉔) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについて自覚することができる。(中1段階工業業と生活(ア)㉔) | (知・技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを分かってしようとしている。 (思・判・表) 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることを分かってしようとしている。 (主学) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さに気付き、取り組もうとしている。 | ・産業と生活 | ①「買い物学習」 ・決められた金額内で何を購入するかを教師と一緒に考える。また店内で品物を購入する際に店員へお金を渡し、品物とレシートを受け取る流れを学習する。 |
| 3 学期 | 8 | (知及技) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。(中1段階オ我が国の地理や歴史(イ)㉔) (思判表力) 身近な人との接し方などについて知ることができる。 (中1段階オ我が国の地理や歴史(イ)㉔) (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとして、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かすことができる。 (中1段階オ我が国の地理や歴史(イ)㉔) | (知・技) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との接し方などについて知ろうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会及び自然に自ら働きかけたり、意欲や自信をもって学んだりして、生活に生かそうとしている。 | ・人との関わり | 「交流学習」 ・教師の支援を受けながら、同世代との適切な関わり方を実践する。 「いじめや差別的禁止」、「自己主張の方法」 ・言葉の使い方が人の気持ちに与える影響を理解し、相手を思いやる言葉を選ぶ力を育てる。 |
| | | (知及技) 簡単なさまりやマナーについて知ることができる。(中1段階ア社会参加ときまり(イ)㉔) (思判表力) 身近で簡単なさまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする。 (中1段階ア社会参加ときまり(イ)㉔) (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとして、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かすことができる。 (中1段階ア社会参加ときまり(イ)㉔) | (知・技) 簡単なさまりやマナーについて知ろうとしている。 (思・判・表) 身近で簡単なさまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 選挙の仕組みについてや、周囲の友達に興味を持とうとしている。また、ルールを守って投票しようとしている。 | ・社会参加ときまり | 「生徒会選挙」 ・選挙管理委員会が発したルールを守って、投票できるようにする。 ・他者の意見や立場を尊重する。 違いを認める。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年 (Ⅱ課程B) 数学 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|--------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 70 | なし | 数学担当2名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| | | | | |
|------|---|--|--|--|
| 年間目標 | (知及技) ・100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けることができる。(小3段階A数と計算(ア)) ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとするところについての技能を身に付けることができる。(小3段階B図形(ア)) ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すようにすることについての技能を身に付けることができる。(小3段階B図形(ウ)) ・身の回りがある長さ、広さ、かさなどの大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量を比較することについての技能を身に付けることができる。(小3段階C測定(イ)) ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて図に表して整理したり、それらを比較して読み取ることについての技能を身に付けることができる。(小3段階Dデータの活用(ア)) (思判表力) ・日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。(小3段階A数と計算(イ)) ・身の回りにあるものの特徴を観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を考え、表現する力を養う。(小3段階B図形(ウ)) ・身の回りのもの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現する力を養う。(小3段階C測定(ア)) ・個数の把握や比較のために簡単な絵や図、表に置き換えて簡潔に表現する力を養う。(小3段階Dデータの活用(ア)) (学・人) ・量の違いを理解し、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小3段階A数と計算(ウ)) ・図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小3段階B図形(ウ)) ・身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。(小3段階Dデータの活用) | | | |
|------|---|--|--|--|

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|-----|----|---|---|--|--|
| 1学期 | 25 | (知及技)100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けることができる。(小3段階A数と計算(ア)) (思判表力)日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。(小3段階A数と計算(イ)) (学・人)数量の違いを理解し、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小3段階A数と計算(ウ)) | (知・技)100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの表し方について考えようとしている。 (主学)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。(知・技)数の大小を比べようとし、加法、減法が用いられる場合について理解し、式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。 (思・判・表)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見つけて出したり、学習や生活で生かそうとしている。(主学)数量に関心をもち、積極的に数字を使おうとしたり、活動に参加しようとしている。 | 単元1 ・100までの数を5ずつや10ずつのまとまりで数えよう。 ・20までの足し算・引き算を計算してみよう。 | ・100までの数を数詞を唱えたり、個数を数え、数の系列を理解できるように穴あき問題に取り組む。 ・提示された絵を5ずつや10ずつなどでまとめ、その絵がいくつあるのかを数える。 ・いくつかの種類の実物大の果物を使いながら20までの数の足し算、引き算をイメージしていく。 ・ $2-2=$ など、同数の引き算の答えがどうなるのかをとおして、0について考えていく。 ・電卓を使って、ワークシートを解いていく |
| 2学期 | 14 | (知及技)ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとするところについての技能を身に付けることができる。(小3段階B図形(ア)) ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すようにすることについての技能を身に付けることができる。(小3段階B図形(ウ)) (思判表力)身の回りにあるものの特徴を観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を考え、表現する力を養う。(小3段階B図形(ウ)) (学・人)図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小3段階B図形(ウ)) | (知・技)同じ色や形カード、大きさに着目して選ぼうとしている。また、ものを目的や用途に分けて箱に入れたり、同じ仲間の絵カードを前後、左右、上下などの言葉を用いて組み合わせようとしている。 (思・判・表)ものを色や形、大きさに着目し、違いや共通点をみつけ、分類しようとしている。 (主学)身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を使い、形や色で分類したり、集めたりしようとする。 | 単元2 ・周りのものの形観察 ・丸、三角形、四角形 ・形カード(○△□)を分類しよう ・お金を分類しよう | ・身の回りのものを、形(丸、四角、三角)毎に分類する。 ・大きさが異なる様々な種類の物(○△□)を用意し、操作する活動を行い、同じもの同士を集める。 ・ものの形に注目し、似ている部分や異なる部分を確認する。 ・硬貨と名称を一致させながら確認する。 ・商品の値札に硬貨の写真を貼り、実物の硬貨を重ね、形や色を比べる。 ・硬貨を種類毎にトレーに入れ分類する。 ・提示された枚数の硬貨を取る。 |
| | 14 | (知及技)身の回りがある長さ、広さ、かさなどの大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量を比較することについての技能を身に付けることができる。(小3段階C測定(イ)) (思判表力)身の回りのもの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現する力を養う。(小3段階C測定(ア)) (学・人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。(小3段階C測定(ウ)) | (知・技)長さ、重さ、高さ及び広さを視覚的に捉えようとしている。また、言葉の意味を理解しようとしている。 (思・判・表)五感を使って、量の大きさを感じようとしている。 2つの量を比べる際、一方を規準にして相対的に比べようとしている。 (主学)自ら2つの具体物を持ち、見たり重ねたりしようとしている。 | 単元3 ・大きさの比較 ・図形を使った比較 ・周りのものの大きさ観察 ・時計をよむ | ・鉛筆やリボンのひもなど、視覚的に長い・短い分かる長さの物を使って、直接見比べる。 ・同じ大きさ、同じ色のバケツを用意し、片方に砂をたくさん入れ、量を感じ覚的に捉える。 ・級友や職員と背比べをし、高い・低いを感じ覚的に捉える。 ・広さの違うレジャーシートを用意し、人数を変えながら実際に座ることで、広い・狭いを捉える。 ・長いを意識し、何時をよむことができる。 |

| | | | | |
|-------------|--|--|---|--|
| 3 学 期 | 17 (知・技)身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて図に表して整理したり、それらを比較して読み取ることについての技能を身につけることができる。(小3段階Dデータの活用ア(ア)) (思判表力)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、表に置き換えて簡潔に表現する力を養う。(小3段階Dデータの活用イ(ア)) (学・人)身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。(小3段階Dデータの活用) | (知・技)身近な天気などを中心に○×などの簡単な記号に置き換え、表に表そうとしている。 (思・判・表)身近な図書貸し出し冊数や身長体重などに興味をもち表を作成し、その表の意味を理解し、表から特徴を読み取ろうとしている。 (主学)○×の意味が分かり、身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表で表現しようとしている。 | 単元4 ・身長体重の表を作る ・○×表 ・目標達成シートを作ろう ・集計・グラフ ・調べてみたい項目について ・集計しよう | ・高校生になってからの身長体重の変化を表にシールを貼り、その変化を読み取る。 ・晴れた日を○、それ以外を×とし、今年度の月の天気変化を表に表し、比べることができる。 ・図書貸し出し冊数を月別に表に表し、集計することができる。 |
| 留意点 引継ぎ等 | <ul style="list-style-type: none"> ・主に小学部3段階を想定 ・学習指導要領「数学科」における領域と学期を対応させて作成(1学期:A数と計算 2学期:B図形 C測定 3学期:Dデータの活用) ・3年間スパンで計画する。(Ⅱ課程Bに関して)指導要領の目標で扱っていないところから優先的に目標を設定する。 ・行事や各教科と関連付けて学習内容を設定する。特に校内実習での金銭指導の中に、お金に関する併せた指導を行う。 ・全単元を通して、真理を探究して新しい物を生み出そうと努める態度を育てている【真理の探究】 ・【評価資料】活動の様子を観察で評価する。 | | | |

令和8年度 高等部 1年(Ⅱ課程B)理科 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|--------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書/副教材等 | 担当者 |
| 35 | なし | 理科担当1名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| | | | | | |
|-------------|----|--|--|---------------------|---|
| 年間目標 | | (知及技) ・自然の事象・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(特別支援学校 中学部 2段階) (思判表力) ・観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。(特別支援学校 中学部 2段階) (学・人) ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(特別支援学校 中学部 2段階) | | | |
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 6 | (知及技) ・植物を栽培して、日々の生長や変化に気が付くことができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (思判表力) ・植物の生長について感じたことを表現することができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (学・人) ・植物の栽培に関心をもち、活動に参加することができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) | (知・技) ・植物を栽培して、日々の生長や変化に気が付く。 (思・判・表) ・植物の生長について感じたことを表現しようとする。 (主学) ・植物の栽培に関心をもち、活動に参加しようとする。 | ・野菜の収穫と栽培 | ・野菜の栽培 ・生長の観察 ・水やり ・土に触れる |
| | 6 | (知及技) ・自然と触れ合い、花や葉の色や形に気が付くことができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (思判表力) ・身近な自然の特徴や変化について感じたことを表現することができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (学・人) ・身近な自然に関心をもち、活動に参加することができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) | (知・技) ・自然と触れ合い、花や葉の色や形に気が付く。 (思・判・表) ・身近な自然の特徴や変化について感じたことを表現しようとする。 (主学) ・身近な自然に関心をもち、活動に参加しようとする。 | ・自然との触れ合い | ・校内にある葉や花を集めてみよう ・押し花作り |
| 2 学期 | 7 | (知及技) ・季節の特徴や変化に気が付くことができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (思判表力) ・屋外を散策して感じたことを表現することができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (学・人) ・季節に合わせた衣服を選ぶ等、生活に生かすことができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) | (知・技) ・季節の特徴や変化に気が付く。 (思・判・表) ・屋外を散策して、感じたことを表現しようとする。 (主学) ・季節に合わせた衣服を選ぶ等、生活に生かそうとする。 | ・季節の変化と生活 | ・季節の行事 ・天気と気温の変化 ・植物の変化 ・校内散策 ・校外散策 |
| | 8 | (知及技) ・生き物が育つ様子を観察し、日々の成長や変化に気が付くことができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (思判表力) ・生き物を観察して、感じたことを表現することができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) (学・人) ・身近な生き物に関心をもち、活動に参加することができる。(小3段階生活科(サ)生命・自然) | (知・技) ・生き物が育つ様子を観察し、日々の成長や変化に気が付く。 (思・判・表) ・生き物を観察して、感じたことを表現しようとする。 (主学) ・身近な生き物に関心をもち、活動に参加しようとする。 | ・生き物の観察 「生命について」 | ・屋外の生き物の観察 ・生き物に触れよう ・動物の飼育 ・植物の栽培 |
| 3 学期 | 4 | (知及技) ・風の力で物を動かすことができることに気が付くことができる。(小3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き) (思判表力) ・風の力や働きについて感じたことを表現することができる。(小3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き) (学・人) ・風の力や働きに関心をもち、活動に参加することができる。(小3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き) | (知・技) ・風の力で物を動かすことができることに気が付く。 (思・判・表) ・風の力や働きについて感じたことを表現しようとする。 (主学) ・風の力や働きに関心をもち、活動に参加しようとする。 | ・風の力の働き | ・凧揚げ作り ・風車作り |
| | 4 | (知及技) ・光や音の力や働きについて気が付くことができる。(小3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き) (思判表力) ・光や音の力や働きについて感じたことを表現することができる。(小3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き) (学・人) ・光や音の力や働きに関心をもち、活動に参加することができる。(小3段階生活科(シ)ものの仕組みと働き) | (知・技) ・光や音の力や働きについて気が付くことができる。 (思・判・表) ・光や音の力や働きについて感じたことを表現しようとする。 (主学) ・光や音の力や働きに関心をもち、活動に参加しようとする。 | ・光や音の性質 | ・スノーレン ・糸電話作り |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年(Ⅱ課程B) 音楽 年間指導計画

| | | |
|--------------|-------------------|---------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書/副教材等 | 担当者名 |
| 105 | 「音楽☆☆☆」、「音楽☆☆☆☆」等 | 音楽担当 4名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | (知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階ア) (思判表力)音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階イ) (学・人)進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階ウ) | | | |
|-------------|----|--|---|--------------------|---|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 12 | (知及技) 教師の伴奏や、友達の歌声に合わせて歌うことができる。(中1A表現ア(ウ)ウ) (思判表力)曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付くことができる。(中1A表現ア(イ)ア、イ) (学・人)歌唱表現の知識を得たり生かしたりしながら、歌いたい気持ちや表現に対する思いや意図をもち、自分なりに表現することができる。(小3A表現ア(ア)) | (知・技) 教師の伴奏や、友達の歌声に合わせて歌っている。 (思・判・表)曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付き、表情や声で自分なりに表そうとしている。 (主学)歌唱表現の知識を得たり生かしたりしながら、歌いたい気持ちや表現に対する思いや意図をもち、自分なりに表現しようとしている。 | 「発声の仕方に気をつけて歌おう」 | 「発声の仕方に気をつけて歌おう」 ・発声練習を繰り返し行う。 ・行事の歌や既習曲(校歌・友だちになれたらいいな・翼をください等)を歌う。 |
| | 18 | (知及技) 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して演奏することができる。(中2A表現イ(ウ)イ) (思判表力)友達の音や教師の合図に合わせてタイミング良くリズムを叩くことができる。(小3A表現イ(ウ)ウ) (学・人)音遊びを通して音の面白さに気付くことができる。(中1ウ) | (知・技) 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して演奏しようとしている。 (思・判・表)友達の音や教師の合図に合わせてタイミング良くリズムを叩いている。 (主学)音遊びを通して音の面白さに気付き、自分なりに表現しようとしている。 | 「リズムや速度を意識して演奏しよう」 | 「リズムや速度を意識して演奏しよう」 ・音符や休符の確認、楽器の取り扱い方、演奏法を学習する。 ・簡単なリズム譜を見て演奏練習を行う。 |
| | 12 | (知及技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(中1B鑑賞ア(ア)) (思判表力)表現する音や音楽に気付くことができる。(小3B鑑賞ア(イ)) (学・人)音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。(小3B鑑賞ア(ア)) | (知・技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きや表情で表したりしながら聴いている。 (思・判・表)表現する音や音楽に気付き、表情や発声で自分なりに表そうとしている。 (主学)音や音楽の楽しさを味わって聴いている。 | 「鑑賞しよう」 | 「鑑賞しよう」 ・平和学習、季節の音楽等の音楽が作られた背景や歴史をプリントやパワーポイント等で学習する。 ・動画教材を鑑賞し、感想等を発表する。 |
| 2 学期 | 20 | (知及技) 教師の伴奏や、友達の歌声に合わせて歌うことができる。(中1A表現ア(ウ)ウ) (思判表力)曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付くことができる。(中1A表現ア(イ)ア、イ) (学・人)歌唱表現の知識を得たり生かしたりしながら、自分なりに歌いたい気持ちや表現に対する思いや意図をもつことができる。(小3ア(ア)) | (知・技) 教師の伴奏や、友達の歌声に合わせて歌っている。 (思・判・表)曲の特徴的なリズムや旋律、歌詞等に気付き、表情や声で自分なりに表そうとしている。 (主学)歌唱表現の知識を得たり生かしたりしながら、歌いたい気持ちや表現に対する思いや意図をもち、自分なりに表現しようとしている。 | 「友達の歌声や伴奏を意識して歌おう」 | 「友達の歌声や伴奏を意識して歌おう」 ・歌詞の意味や曲想についてプリントやパワーポイント等で学習する。 ・音楽記号等に気をつけて歌唱練習する。 |
| | 24 | (知及技) 音色や響き気をつけて打楽器や旋律楽器を演奏することができる。(中2A表現イ(ウ)イ) (思判表力)友達の音や教師の合図に合わせてタイミング良くリズムを叩くことができる。(小3A表現イ(ウ)ウ) (学・人)音遊びを通して音の面白さに気付くことができる。(中1ウ) | (知・技) 音色や響きに気をつけて打楽器や旋律楽器を演奏しようとしている。 (思・判・表)友達の音や教師の合図に合わせてタイミング良くリズムを叩いている。 (主学)音遊びを通して音の面白さに気付き、自分なりに表現しようとしている。 | 「音色や響きに気をつけて演奏しよう」 | 「音色や響きに気をつけて演奏しよう」 ・音符や休符の確認、楽器の取り扱い方、演奏法を学習する。 ・簡易学習を見て演奏練習を行う。 ・他パートの演奏や伴奏を聴いて合奏練習を行う。 |
| 3 学期 | 11 | (知及技) 簡単なリズムパターンや、身の回りの様々な音の特徴について気付くことができる。(小3A表現ウ(イ)アイ) (思判表力)音を選んだりつなげたりして教師と一緒に簡単な旋律を作ることができる。(小3A表現ウ(ウ)アイ) (学・人)音楽づくりに積極的に関わり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつことができる。(小3A表現ウ(ア)イ) | (知及技) 簡単なリズムパターンや、身の回りの様々な音の特徴について気付き、表情や体の動きで表現しようとしている。 (思判表力)教師と一緒に音を選んだりつなげたりして旋律を作ろうとしている。 (学・人)音楽づくりに積極的に関わり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもち、自分なりに表現しようとしている。 | 「旋律をつなげて短い曲を作ろう」 | 「旋律をつなげて短い曲を作ろう」 ・音階について、郷土の音楽や西洋音楽を鑑賞したり、プリントやパワーポイント等で学習し、ワンフレーズを創作する。 ・創作した旋律を級友に発表する。 |
| | 8 | (知及技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(中1B鑑賞ア(ア)) (思判表力)表現する音や音楽に気付くことができる。(小3B鑑賞ア(イ)) (学・人)音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。(小3B鑑賞ア(ア)) | (知・技) 身近な人の演奏を見たり、体の動きや表情で表したりしながら聴いている。 (思・判・表)表現する音や音楽に気付き、表情や発声で自分なりに表そうとしている。 (主学)音や音楽の楽しさを味わって聴いている。 | 「曲想の違いを感じて鑑賞しよう」 | 「曲想の違いを感じて鑑賞しよう」 ・郷土の音楽や西洋音楽が作られた背景や歴史をプリントやパワーポイント等で学習する。 ・動画教材を鑑賞し、感想等を発表する。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年 (Ⅱ課程B) 美術科 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|---------|
| 単位数 /配当回数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 70 | なし | 美術担当 6名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | | | | |
|---|----|--|---|--|---|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| (知及技) ・造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親むとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) ・造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人) ・楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階) | | | | | |
| 1 学期 | 26 | (知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階A(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好することができる。(高1段階(1)ウ) | (知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好している。 | ①表現 ・【モダンテクニック】 (デカルコマニー、スパッタリング、ストリング) ・【染色】(折り染め) ・【粘土に触れよう】 ・【季節の壁面づくり】 | ・様々な材料や絵の具をはじめとする用具を用いて、描いたり、染めたりする。 ・粘土に触れ、匂いや感触を楽しみながら、生活に関連する器を作製する。 |
| | | (知及技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。(高1段階B(ア)) (思判表力) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えることができる。(高1段階B(イ)) (学・人) 身の回りにおける自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取ることができる。(高1段階B(イ)) | (知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取っている。 (思・判・表) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えている。 (主学) 身の回りにおける自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取っている。 | ②鑑賞 ・【世界の名作鑑賞】 (「アートでストレッチ」) ・【季節の壁面づくり】 ・【ポスターをつくらう】 (みんなに伝えよう) | ・授業開始前の準備運動として、アート作品(絵画、彫刻、建築物、デザインロゴなど)を音楽付き動画で鑑賞し、作品の形や特徴を真似しながら体操を行う。 |
| 2 学期 | 26 | (知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階A(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好することができる。(高1段階(1)ウ) | (知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好している。 | ①表現 ・【削って作ろう】 (スクラッチアート) ・【名画を再現してみよう】 (グリット転写orピクセルアート) ・【ポスターをつくらう】 (みんなに伝えよう) | ・画用紙を様々な色でカラフルに塗り、その上から黒のクレヨンで塗りつぶす。その後、尖った画材で黒い面を削りながら、模様を描く。 ・【グリット転写】有名絵画を分割し、与えられたパーツの描写を行う。最後に、クラスメイト全員のパーツを組み合わせ、絵画を完成させる。【ピクセルアート】分割した有名絵画を、iPadアプリを使用してマスごとに単色で色付けをして絵画を完成させる。 ・これまで学習した、様々な技法を用いて、運動会のポスターを作製する。 |
| | | (知及技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。(高1段階B(ア)) (思判表力) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えることができる。(高1段階B(イ)) (学・人) 身の回りにおける自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えることができる。(高1段階B(イ)) | (知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取っている。 (思・判・表) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えている。 (主学) 身の回りにおける自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えている。 | ②鑑賞 ・【世界の名作鑑賞】 (「アートでストレッチ」) ・【ポスターをつくらう】 (みんなに伝えよう) | ・授業開始前の準備運動として、アート作品(絵画、彫刻、建築物、デザインロゴなど)を音楽付き動画で鑑賞し、作品の形や特徴を真似しながら体操を行う。 |
| 3 学期 | 18 | (知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表す。(高1段階A(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練る。(高1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好することができる。(高1段階(1)ウ) | (知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好している。 | ①表現 ・【共同制作】 (卒業生への作品づくり) | ・卒業する先輩方への感謝の気持ちを込めて、これまで学習した技法を活用し、クラスみんなで協力し合いながら、作品をつくる。 |
| | | (知及技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取ることができる。(高1段階B(ア)) (思判表力) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えることができる。(高1段階B(イ)) (学・人) 身の回りにおける自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えること。(高1段階B(イ)) | (知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取っている。 (思・判・表) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えている。 (主学) 身の回りにおける自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えている。 | ②鑑賞 ・【世界の名作鑑賞】 (「アートでストレッチ」) ・作品集づくり | ・授業開始前の準備運動として、アート作品(絵画、彫刻、建築物、デザインロゴなど)を音楽付き動画で鑑賞し、作品の形や特徴を真似しながら体操を行う。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年 (Ⅱ課程B) 保健体育 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|--------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 70 | なし | 体育担当3名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | (知及技)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階) (学・人)各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階) | | | |
|-------------|----|--|--|---|--|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 14 | (知及技)体ほくしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。(中1段階Aア) (思判表力)体ほくしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Aイ) (学・人)体ほくしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Aウ) | (知・技)体ほくしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思・判・表)体ほくしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)体ほくしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。 | 体づくり運動 ・体ほくし運動 ・体の動きを高める運動 ・体力測定 | いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動や仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行う ・リズムに乗って行う運動 ・サーキット ・ストレッチ 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動の中から、一つのねらいを取り上げ、それを高めるための運動を効率よく組み合わせる。 ・10分間走、 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動 |
| | 14 | (知及技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階Dア) (思判表力)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Dイ) (学・人)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Dウ) | (知・技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思・判・表)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。 | 水泳 | 水泳の特性に応じ、目的に応じた技能を自己の特性に応じた泳法や課題に挑戦すること。 ・浮く ・進む→歩行、プル、キック ・呼吸(顔つけ) ・泳法の習得 (長く泳ぐ、早く泳ぐ) |
| 2 学期 | 12 | (知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Eウ) | (知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。 | 球技(ターゲット型) | ・生徒の実態等に応じて簡易化したルールでゲームを行う。 ・将来の余暇活動にも結びつく種目を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に応じて、各種目のきまりやルールのついでに学習を行う。 ボッチャ ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦 |
| | 8 | (知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Eウ) | (知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。 | 球技(ネット型) | ・生徒の実態等に応じて簡易化したルールでゲームを行う。 ・将来の余暇活動にも結びつく種目を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に応じて、各種目のきまりやルールのついでに学習を行う。 風船バレーボール ・チーム練習 ・ゲーム |
| | 6 | (知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Eウ) | (知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。 | 球技(ベースボール型) | ・生徒の実態等に応じて簡易化したルールでゲームを行う。 ・将来の余暇活動にも結びつく種目を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に応じて、各種目のきまりやルールのついでに学習を行う。 ベースボール ・チーム練習 ・ゲーム |
| 3 学期 | 16 | (知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Eウ) | (知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行おうとしている。 (思・判・表)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。 | 球技(ゴール型) | ・生徒の実態等に応じて簡易化したルールでゲームを行う。 ・将来の余暇活動にも結びつく種目を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に応じて、各種目のきまりやルールのついでに学習を行う。 車イスサッカー ・チーム練習 ・ゲーム |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程B）職業 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|---------|
| 単位数 ／配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 140 | なし | 職業科担当1名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | (知及技)職業について関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中職業1段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中職業1段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中職業1段階) | | | |
|-------------|----|--|---|---|---|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 48 | (知及技)職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。(中1段階-Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。(中1段階-Aア(イ)) (学・人)職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。(中1段階-Aイ(イ)㊸) | (知・技)働くことの目的や授業の目標、活動内容を理解しようとしている。 (思・判・表)作業内容に見通しを持ちながら、目標や役割について考えようとしている。 (主学)気温に応じた服装や自分の体調管理について考えながら授業に望もうとしている。 | 「職業オリエンテーション」 「職業の心得」 | ・自己紹介 ・授業の目標確認 ・年間計画の確認 ・役割分担 ・仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、確認、協力、清掃、安全について(通年) |
| | | (知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。(中1段階-Bア) (思・判・表)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。(中1段階-Bイ) (学・人)他者の発表を聞いて、自分以外の様々な考えに気づくことができる。(中1段階-Cイ) | (知・技)パソコンやiPad等の基本的な使い方を理解して使用している。 (思・判・表)商品広告や宣伝等で自分の活動内容や作品を他者に伝えようとしている。 (主学)他者の発表を聞いて、自分の意見との共通点や違いなどを見つけようとしている。 | 「名刺づくり」 名刺注文受注・作成、注文の受け方、袋詰め、計算練習、挨拶練習、販売実践 | ・iPadやPCで名刺の作成(デザイン決め、文字入力、画像挿入) ・注文の取り方について ・仕入れの価格と販売価格を考えて、値段決定 ・商品プレゼン ・料金の受け取り方、商品の渡し方の練習 ・iPadのアプリや計算機を利用した計算練習 ・名刺の販売 |
| 2 学期 | 60 | (知及技)材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生産活動等に関する基礎的な技術について知ることができる。(中1段階-Aイ(ア)㊸) (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。(中1段階-Aイ(イ)㊸) (学・人)挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組むことができる。(中1段階-Aア(ウ)) | (知・技)播種や収穫など、作業内容や手順、必要な準備、片付けなどを理解し取り組もうとしている。 (思・判・表)使用する道具を安全に扱おうとしている。収穫する野菜を傷つけないようにするなど衛生について工夫して作業しようとしている。 (主学)作業内容を理解し、自主的に活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。 | 「作物の栽培」 野菜、花の栽培(播種、間引き、施肥、かん水、収穫)、作業場の準備・片付け | ・播種：細かな種を丁寧に撒く。 ・施肥：適切な場所に適切な量を散布できるようにする。 ・収穫：収穫に適した大きさなどを見極め、傷つけないように収穫する。 ・収穫した野菜を家族に届けることで、達成感を得られるようにする。 ・自主的に作業場の清掃、片付けができるようにする。 |
| | | (知及技)作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。(中1段階-Aイ(ア)㊸) (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。(中1段階-Aイ(イ)㊸) (学・人)挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組むことができる。(中1段階-Aア(ウ)) | (知・技)作業内容や手順、道具、機械等の扱いに慣れようとしている。 (思・判・表)使用する道具の安全性について考えようとしている。作業では材料を傷つけないように工夫して作業しようとしている。 (主学)作業内容を理解し、自主的に活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。 | 「木工品製作」 作業時の安全事項、材料、道具の使用方法和準備・片付け、レーザー彫刻、木工品製作 「生産物販売」 商品準備(袋詰め、値段の設定、値札作成、チラシ作り)、接客、販売、お金の計算 | ・工具、機械の使用方法 ・安全確認について ・材料の磨き、組み立て、塗装作業 ・iPadのアプリと同期し、レーザー彫刻 ・作業場の準備、片付け、清掃 ・包装やラベル作成 ・広告のデザイン ・値段の決定、値札作成 ・会計練習、販売時の挨拶練習 ・接客マナーの向上 |
| 3 学期 | 32 | (知及技)職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ることができる。(中1段階-Aア(イ)㊸) (思判表力)作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。(中1段階-Aイ(イ)㊸) (学・人)作業や実習等に達成感を得ながら活動に取り組むことができる。(中1段階-Aア(ウ)) | (知・技)販売学習を経験し、給料等の仕組みについて関心を持つようとしている。 (思・判・表)販売する商品に対しての衛生面や作業の安全面を考え工夫しようとしている。 (主学)達成感を得ながら将来の職業生活をイメージしながら活動に取り組もうとしている。 | 「生産物販売」 内容の選定、商品準備(袋詰め、値段の設定、値札作成、チラシ作り)、接客、販売、お金の計算、振り返り | ・iPadを活用し、包装やラベル作成 ・広告のデザイン ・値段の決定、値札作成 ・会計練習、販売時の挨拶練習 ・接客マナーの向上 ・1年間の振り返り |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和 8 年度 高等部 1 年 (Ⅱ 課程B) 家庭科 年間指導計画

| | | |
|---------------|------------|---------|
| 単位数 / 配当時数 | 教科書 / 副教材等 | 担当者名 |
| 35 | なし | 家庭科担当2名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | (知及技) 家族家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身につける。(中1段階家庭分野A) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、課題を解決する力を養う。(中1段階家庭分野A) (学・人) 食事が果たす役割について理解し、健康に良い食習慣について考えることができる。(中1段階家庭分野B) | | | |
|-------------|----|---|---|--|--|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 6 | (知及技) 健康管理や余暇の過ごし方について知り、実践することができる。(中1段階家庭分野Aウ(ア)) (思判表力) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを知ることができる。(中1段階家庭分野Aア(ア)) (学・人) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを通して育み、よりよい関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階家庭分野Aア(イ)) | (知・技) 歯磨きや手洗いを行う中で、簡単な身辺処理がわかり、実践しようとしている。 (思・判・表) 自分の成長の振り返りを通して、成長し変化しているのを感じようとしている。 (主学) 家族への感謝の気持ちを表情や言葉等で伝えようとしている。 | 「家族・家庭生活」 ア自分の成長と家族 イ家庭生活と役割 ウ家庭生活における余暇 | 「健康管理 歯みがき、手洗い、給食、」 ・生活習慣や生活リズム等の日常生活が健康に影響を及ぼすことが理解できる。 「自分と家族：母の日 父の日」 ・自分の成長や生活は、家族に支えられてきたことが分かり、感謝の気持ちを表す。 |
| | 6 | (知及技) ・住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方を身に付けることができる。(中2段階家庭分野Bオ(ア)) ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した基礎的な調理の仕方について知ることができる。(中1段階家庭分野Bイ(ア)) (思判表力) 安全で健康、快適な視点から、生活の中から見いだした課題を解決する力を身に付けることができる。(中2段階家庭分野Bオ(イ)) (学・人) 体験的な学習を通して、学習で身に付けた力を自らの生活に生かすことができる。(中1段階家庭分野Bイ(ア)) | (知・技) ・片付けや掃除を手添えで行うことができる。 ・調理に必要な道具の使い方を覚え、安全に気をつけて調理できる。 簡単な作業を覚え、自ら手を動かすことができる。 (思・判・表) 汚れた洗濯物と洗った清潔な衣服の違いを感じ、 (主学) 仲間とじっくり調理を楽しむことができる。 | 「衣食住の生活」 ア食事の役割 イ調理の基礎 ウ衣服の着用と手入れ エ快適な住まい方 | 「整理・整頓・清掃」 ・生活する場所が、心身の安らぎと健康を維持する働きがあることを知り、整理の仕方や整頓方法を学ぶ。 「衣服の役割と着用」 ・どのような場面でどのような衣服を着用するのか、衣服の役割を知る。 「食事の役割」 ・日頃食べている食事から食事の役割・食事のマナー・季節の食材・調理方法を学ぶ。 ・楽しく食べるための工夫が必要であることに気付く。 |
| 2 学期 | 14 | (知及技) ・家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方を身に付けることができる。(中2段階家庭分野Bオ(ア)) (思判表力) ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した基礎的な調理の仕方について知ることができる。(中1段階家庭分野Bイ(ア)) (学・人) 安全で健康、快適な視点から、生活の中から見いだした課題を解決する力を身に付けることができる。(中2段階家庭分野Bオ(イ)) | (知・技) 整理・整頓を通して、快適で完全な住環境の大切さについて考え、行動しようとしている。 (思判表力) 調理に必要な道具の使い方を覚え、安全に気をつけて調理しようとしている。 (主学) 家族みんなが気持ち良く住むための工夫を考えている。 | 「衣食住の生活」 ア食事の役割 イ調理の基礎 ウ衣服の着用と手入れ エ快適な住まい方 | 「整理・整頓・清掃」 ・生活する場所が、心身の安らぎと健康を維持する働きがあることを知り、整理・整頓方法に加え、掃除の仕方や方法を学ぶ。 「衣服の手入れ」 ・着用した衣服の洗濯方法や洗濯機の使い方を知る。 「調理実習」 ・身近な食材を使った簡単な調理を実践する。 ・楽しく食べるための工夫が必要であることに気付く。 |
| 3 学期 | 9 | (知及技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気づくことができる。(中1段階家庭分野Cア(ア)) (思判表力) 物資・サービスの選択や購入についての課題を解決する力を身に付けることができる。(中1段階家庭分野Cア(ア)) (学・人) 買い物を通して、金銭の保管の仕方を覚えたり、買い物に必要な言葉を使ったりすることができる。(中1段階家庭分野Cア(イ)) | (知・技) 買い物とお金、仕事に関心をもっている。 (思・判・表) 予算を確認し、購入する商品を考えてようとしている。 (主学) 買い物学習を通して、自分から「これ、ください」と店員に向かって言うことができ、人との関わりを楽しもうとしている。 | 「消費生活・環境」 ア身近な消費生活 イ環境に配慮した生活 | 「消費生活：買い物、金銭の扱い」 ・販売学習をする。 ・購入計画を立てよう。 ・買い物学習をする。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年 (Ⅱ課程B) 外国語 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|---------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 35 | なし | 英語科担当1名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | (知及技)外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(中2外国語(1)ア) (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(中2外国語(2)ア) (学・人)外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(中1外国語(3)) | | | |
|-------------|----|--|--|----------------------------------|--|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1学期 | 13 | (知及技)英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。(中2外国語(1)ア) (思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。(中2外国語(2)ア) (学・人)外国語を通して、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとすることができる。(中1外国語(3)) | (知・技)英語であいさつをしている。 (思・判・表)あいさつに続けて、自分の体調などを伝えている。 (主学)英語で相手に伝わる音量でコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。 | ①Greeting, date, day and weather | ・あいさつ、曜日や日付など ・担当教師、ALT、友人らと英語であいさつを交わす。 ・日付や曜日、天気を教師またはALTの後について言う。 ・iPadを活用し、あいさつなどの音声に親しむ。 |
| 2学期 | 15 | (知及技)英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、用件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ることができる。(中2外国語(1)ア(イ)) (思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。(中2外国語(2)ア) (学・人)外国語を通して、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとすることができる。(中1外国語(3)) | (知・技)日本語の音声とローマ字で書かれた日本語の語句のカードをマッチングさせている。 (思・判・表)日常生活に関する簡単な事柄について、英語を発音することができる。 (主学)行事に関する語句などを読もうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。 | ②the roman alphabet | ・ローマ字を覚えよう ・音声とローマ字のカードをマッチングさせる。 ・行事に関する事物を表す英語を読む。 ・外国における行事の内容の違いについてALTから学び、体験してみる。 ・自分の名前をローマ字で書く(なぞり書き→見本を見て)。 ・iPadを活用し、英語の歌で語彙を増やす。 |
| 3学期 | 7 | (知及技)英語の音声を聞き、基本的な表現を真似て話すことで、相手に伝わることを感じ取ることができる。(中2外国語(1)ア(ア)(イ)(ウ)) (思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。(中2外国語(2)ア) (学・人)外国語を通して、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとすることができる。(中1外国語(3)) | (知・技)モデルの自己紹介にならって声を出し、練習している。 (思・判・表)伝えたいことを考え、基本的な表現を使って伝えている。 (主学)英語で相手に伝わる音量でコミュニケーションを図ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。 | ③Nice to meet you | ・自己紹介・他己紹介 ・教師の自己紹介を聞く。 ・自己紹介のパターンを練習する。 ・ALTや友人とペアになって自己紹介を行う。 ・先の自己紹介の内容を使って、クラスの前で他己紹介を行う。 ・iPadを活用し、英語の歌で語彙を増やす。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年(Ⅱ課程B) 情報 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|--------|
| 単位数 /配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 35 | なし | 情報担当1名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | (知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等の初歩的な操作の仕方を知る。(中1段階(職業分野)) (思判表力) 情報機器に触れ、体験したことなどを他者に表現することができる。(中1段階(職業分野)) (学・人) 様々な活動の場面で情報機器等に意欲的に触れることができる。(中1段階(職業分野)) | | | |
|-------------|----|---|---|------------------|---|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価基準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 13 | (知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等 等に触れ、返事や挨拶をすることが できる。(中1段階(職業分野)) (思判表力) 情報機器等で音楽や動画を視聴し た際に好き嫌いを表情等で表現す ることができる。(中1段階(職業分 野)) (学・人) 教師の支援を受けながら、自ら情 報機器に触れ、操作しようとして いる。(中1段階(職業分野)) | (知・技) 教師の支援を受けながら適切なタ イミングで情報機器に触れ、操作 している。 (思・判・表) 情報機器等による音楽、動画視聴 に対して、表情や発声等で好き嫌 いを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながらタブレッ ト等の情報機器に自ら手を動かし て触れようとしている。 | 「情報機器を活用し、表現しよう」 | 「情報機器を使おう」 ○朝の会や帰りの会の司会、 授業の挨拶をタブレット等で行 う。 ○タブレット等で好きな画像 や音楽、動画を選び、視聴す る。 ○タブレット等のカメラ機能 で写真や動画の撮影を行う。 |
| 2 学期 | 15 | (知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等 等に触れ、返事や挨拶をすることが できる。(中1段階(職業分野)) (思判表力) 情報機器等で音楽や動画を視聴し た際に好き嫌いを表情等で表現す ることができる。(中1段階(職業分 野)) (学・人) 教師の支援を受けながら、自ら情 報機器に触れ、操作しようとして いる。(中1段階(職業分野)) | (知・技) 教師の支援を受けながら適切なタ イミングで情報機器に触れ、操作 している。 (思・判・表) 情報機器等による音楽、動画視聴 に対して、表情や発声等で好き嫌 いを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながらタブレッ ト等の情報機器に自ら手を動かし て触れようとしている。 | 「情報機器を活用し、表現しよう」 | 「情報機器を使おう」 ○朝の会や帰りの会の司会、 授業の挨拶をタブレット等で行 う。 ○タブレット等で好きな画像 や音楽、動画を選び、視聴す る。 ○タブレット等のカメラ機能 で写真や動画の撮影を行う。 |
| 3 学期 | 7 | (知及技) 教師の支援を受けながら情報機器等 等に触れ、返事や挨拶をすることが できる。(中1段階(職業分野)) (思判表力) 情報機器等で音楽や動画を視聴し た際に好き嫌いを表情等で表現す ることができる。(中1段階(職業分 野)) (学・人) 教師の支援を受けながら、自ら情 報機器に触れ、操作しようとして いる。(中1段階(職業分野)) | (知・技) 教師の支援を受けながら適切なタ イミングで情報機器に触れ、操作 している。 (思・判・表) 情報機器等による音楽、動画視聴 に対して、表情や発声等で好き嫌 いを表現している。 (主学) 教師の支援を受けながらタブレッ ト等の情報機器に自ら手を動かし て触れようとしている。 | 「情報機器を活用し、表現しよう」 | 「情報機器を使おう」 ○朝の会や帰りの会の司会、 授業の挨拶をタブレット等で行 う。 ○タブレット等で好きな画像 や音楽、動画を選び、視聴す る。 ○タブレット等のカメラ機能 で写真や動画の撮影を行う。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和8年度 高等部 1年（Ⅱ課程B） 道徳 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|---------|
| 単位数 ／配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 35 | なし | 道徳担当者1名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標 | | よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 | | | |
|-------------|----|---|--|---------------------|---|
| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
| 1 学期 | 4 | 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。(A 主として自分自身に関する事) | ・自分の夢や目標について考え、自己向上のための目標を設定している。 ・苦手なことに対する向き合い方について考え、自分なりの方法(手立て)で改善に向けて取り組んでいる。 | 「向上心、個性の伸長」 | ・1学期の個人目標を立てる。 |
| | 4 | 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する。(C 主として集団や社会との関わりに関する事) | ・働くことの意義や喜びについて理解し、考えている。 ・社会における自分の役割や将来の生き方について考え、生活の中で意識した取り組みをしている。 | 「勤労について考えよう」 | ・前期生活・就業体験に向けて意識する。 ・生活習慣の見直しをする。 ・職業生活について考える。 |
| | 5 | 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重する。(D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事) | ・沖縄戦や郷土の歴史を学習し、命の尊さ、郷土の文化について考えている。 ・生命はかけがえないものであり、生命の大切さをより強く自覚し、大切にしようとする気持ちを持っている。 | 「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」 | ・平和学習をする。 ・慰霊の日に向けて、沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や命の大切さについて再確認する。 ・命について考える。 |
| 2 学期 | 6 | 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高める。(B 主として人との関わりに関する事) | ・相手の立場に立った行動の大切さに気づき、それぞれの違いを尊重し相手を思いやる心について自己の考えを深め、表現している。 ・自分の意見を大切にしながらも、自分と異なる意見に触れ、新しい見方や考え方を持っている。 | 「相互理解、寛容について考えよう」 | ・人権について考える。 ・世界エイズデーについて知る。 ・LGBTについて学ぶ。 ・障害者差別解消法を学ぶ。 |
| | 9 | 社会参画の意義と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める。(C 主として集団や社会との関わりに関する事) | ・約束やきまりはみんなが気持ちよく生活するためにあることがわかり、話し合いを通して様々な意見を聞き、法やきまりを守るために大切にしたい自分なりの考えをもち、思いを伝えている。 ・身の回りの公共物や公共の場所は、どのように使ったり、過ごしたりすればよいのかを考え、行動している。 ・情報モラルについて学び、自身の生活の中で意識した行動をしている。 | 「社会参画と公共の精神について学ぼう」 | ・共生について考える。 ・校外学習で、公共機関や公共の施設を利用するときのルールとマナーについて学ぶ。 ・情報モラルについて学ぶ。 |
| 3 学期 | 7 | より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気もち、困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる。(A 主として自分自身に関する事) | ・1年間を振り返り、がんばったことと課題点を理解し、改善に向けて取り組んでいる。 ・達成感について考えている。 ・これからの課題や目標を見つけ、言語活動による表現をしている。 | 「勇気と希望、克己と強い意志」 | ・自己の1年間を振り返り、次年度及び卒後に向けた目標を設定、意識した生活が行えるようにする。 |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |

令和 8 年度 高等部 1 年 (Ⅱ課程B) 総合的な探求の時間 年間指導計画

| | | |
|---------------|------------|---------------|
| 単位数 / 配当時数 | 教科書 / 副教材等 | 担当者名 |
| 35 | なし | 総合的な探求の時間担当3名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| | | | | |
|------|--|--|--|--|
| 年間目標 | (知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。(中1段階) (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。(中1段階) (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。(中1段階) | | | |
|------|--|--|--|--|

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|------|----|--|--|--|--|
| 1 学期 | 12 | (知及技) 卒業後の進路について知ることができる。 (思判表力) 卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 自分の進路についての学習に意欲をもって取り組むことができる。 | (知・技) 卒業後の進路について知っている。 (思・判・表) 卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えている。 (主学) 自分の進路についての学習に意欲をもって取り組んでいる。 | 職業や自己の将来に関する課題 「就業・生活体験」 【向上心、個性の伸長】 | ・前期就業・生活体験(校内実習含む) ・事前事後学習及び報告会 |
| | | (知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。 | (知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。 | 職業や自己の将来に関する課題 「就業・生活体験」 【向上心、個性の伸長】 | ・後期就業・生活体験(校内実習含む) ・事前事後学習及び報告会 ・福祉事業所の活動などをiPadを活用し、視聴。 |
| 2 学期 | 15 | (知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。 | (知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。 | 職業や自己の将来に関する課題 「就業・生活体験」 【向上心、個性の伸長】 | ・後期就業・生活体験(校内実習含む) ・事前事後学習及び報告会 ・福祉事業所の活動などをiPadを活用し、視聴。 |
| | | (知及技) 交流学習等を通し、近隣校や小中学校等の生徒の様子を知ることができる。 (思判表力) 他校の生徒や初対面の人との自分なりのかかわり方を考え、表現することができる。 (学・人) 互いのよさを生かしながら、積極的に他者とかわり合おうとすることができる。 | (知・技) 交流学習等を通し、近隣校や小中学校等の生徒の様子を知っている。 (思・判・表) 他校の生徒や初対面の人との自分なりのかかわり方を考え、表現している。 (主学) 互いのよさを生かしながら、積極的に他者とかわり合おうとしている。 | 地域や学校の特色に応じた課題 「交流・共同学習」 【相互理解、寛容】 | ・中部農林高校との交流 |
| 3 学期 | 8 | (知及技) 卒業後の進路について知ることができる。 (思判表力) 卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 自分の進路についての学習に意欲をもって取り組むことができる。 | (知・技) 卒業後の進路について知っている。 (思・判・表) 卒業後の未来を感じ、考えたことを他者に伝えている。 (主学) 自分の進路についての学習に意欲をもって取り組んでいる。 | 地域や学校の特色に応じた課題 「交流・共同学習」 【相互理解、寛容】 | ・中部農林高校との交流 |

| | | | | | |
|-------------|--|--|--|--|--|
| 留意点 引継ぎ等 | | | | | |
|-------------|--|--|--|--|--|

令和8年度 高等部1年（Ⅱ課程B） 特別活動 年間指導計画

| | | |
|--------------|----------|-----------|
| 単位数 ／配当時数 | 教科書／副教材等 | 担当者名 |
| 35 | なし | 特別活動担当者1名 |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| | |
|------|---|
| 年間目標 | (知及技) 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 (思判表力) 交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共に共にしたりする集団活動を通して生徒の経験を広め、自己実現や社会参画のための課題を見だし、解決に向かって取り組むことができる。 (学・人) 人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。 |
|------|---|

| 学期 | 時数 | 単元・題材の目標 | 単元・題材の評価規準 | 単元・題材名 | 単元・題材の活動内容 |
|---------|----|--|---|---|---|
| 1 学期 | 7 | (知及技) 厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品のある行動の仕方などを身に付ける。 (中:学校行事(1)儀式的行事) (思判表力) 新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができるようにする。 (中:学校行事(1)儀式的行事) (学・人) 厳粛で清新な気分を味わい、新たな生活への希望や意欲につなげるようとする態度を養う。 (中:学校行事(1)儀式的行事) | (知・技) 儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 (思・判・表) 新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) 新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 | ・始業式 ・入学式 ・身体測定 ・学級開き ・新入生歓迎会 | 3 学校行事(1)儀式的行事 1 学級活動(1)ア ・学級開き(学級目標等を考える) 2 生徒会活動 ・児童生徒委員会 ・図書室の利用(読書活動) |
| | 7 | (知及技) 働くことの意義、社会的・職業的な自立について理解し、体験活動の仕方について必要な知識や技能を身に付ける。 (中:学校行事(5)勤労生産・奉仕的行事) (思判表力) 勤労生産や奉仕に関して自分のできることを判断し、多様な他者と協力して実践することができる。 (中:学校行事(5)勤労生産・奉仕的行事) (学・人) 勤労観や職業感を深めたり社会奉仕の精神を養ったりして、進んで勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、社会に貢献しようとする態度を養う。 (中:学校行事(5)勤労生産・奉仕的行事) | (知・技) 働くことの意義、社会的・職業的な自立について理解している。 (思・判・表) 勤労生産や奉仕に関して自分のできることを判断し実践している。 (主学) 勤労観や職業観を深く進んで体験的な活動をしようとしている。 | ・生徒総会 ・就業体験にむけて ・歯と口の衛生週間 ・平和学習 ・1学期の反省 ・終業式 | 3 学校行事(5)勤労生産・奉仕的行事 1 学級活動(1) ・前期就業・生活体験に向けて ・図書室の利用(読書活動) 2 生徒会活動 ・児童生徒総会 ・児童生徒委員会 ・夏休みの過ごし方 ・学級清掃 |
| 2 学期 | 8 | (知及技) 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解できる。 (中:学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」) (思判表力) 他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表したり、芸術的なものや地域や我が国の伝統文化に触れたりして、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (中:学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」) (学・人) 集団や社会の形成者として伝統文化の継承や新たな文化の創造に寄与しようとする態度や、自己の成長を振り返り、自己を一層慎重させようとする態度を養う。 (中:学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」) | (知・技) 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 (思・判・表) 自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだしている。 (主学) 将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとしている。 | ・始業式 ・2学期の目標 | 1 学級活動「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」 ・いじめ防止授業 ・図書室の利用(読書活動) |

| | | | | |
|-------------|--|---|--|--|
| | <p>(知及技) 美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり、芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付ける。 (中:学校行事(2)文化的行事) (思判表力)</p> <p>美しいものや優れたもの、芸術的なものや地域や我が国の伝統文化に触れたりして、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (中:学校行事(2)文化的行事) (学・人)</p> <p>多様な文化芸術に親しむとともに、集団や社会の形成者として伝統文化の継承や新たな文化の創造に寄与しようとする態度や、自己の成長を振り返り、自己を一層慎重させようとする態度を養う。 (中:学校行事(2)文化的行事)</p> | <p>(知・技) 美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり、芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)</p> <p>日頃の学習活動の成果発表や芸術、伝統文化に触れ、個性を認め、互いに高め合いながら実践している。 (主学)</p> <p>文化的な視点から自己の成長を見通したり、振り返ったりしながら、自己を一層伸長させようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会 ・お楽しみ会 ・終業式 | <p>3学校行事(3)文化的行事</p> <p>2生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒委員会 ・後期就業・生活体験に向けて ・図書室の利用(読書活動) ・後期就業・生活体験事後学習、まとめ ・冬休みの過ごし方 ・キャリアパスポート |
| 3 学 期 | <p>(知及技) 生徒の総意によって目標を設定し、役員選挙等を通じた組織作りや役割分担を行って協働して実行することの意義を理解し、そのために必要な計画や運営、合意形成の仕方などを身に付ける。 (中:生徒会活動) (思判表力)</p> <p>学校生活の充実と向上のための課題や生徒の提案を生かした活動の計画について考え、課題解決の方法や役割の決定、その実践に取り組むことができる。 (中:生徒会活動) (学・人)</p> <p>集団の形成者として、多様な他者と、互いの個性を生かして協力し、積極的に学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養う。 (中:生徒会活動)</p> | <p>(知・技) 全校の生徒をもって組織する大きな集団での活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けている。 (思・判・表)</p> <p>生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだしている。 (主学)</p> <p>3年間や全校という視野で見通しをもったり振り返ったりしながら、よりよい生活を築こうとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・新年の目標 ・生徒会長選挙 ・3年生を送る会 ・1年間の反省 ・卒業式 ・修了式 ・離任式 | <p>1学級活動(1)</p> <p>3学校行事(1)儀式的行事</p> <p>2生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒委員会 ・児童生徒役員選挙告示 ・キャリアパスポート ・図書室の利用(読書活動) ・児童生徒生徒役員選挙演説・投票 ・卒業生を送る会・卒業・進級に向けて ・1年間を振り返る |
| 留意点 引継ぎ等 | | | | |